

ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

平成26年12月15日号

第21号

発行 社会福祉
法人 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒314-0121 神栖市溝口1746番地1
TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750
ホームページ <http://www.kamisushakyo.com/vc/>
※ホームページでは、この広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます
メールアドレス mail@kamisushakyo.com



神栖市内で活動するボランティア ひふみかい 灯譜美会

通所介護サービスデイぬくもり(神栖市息栖)で、童謡の『もみじ』を演奏する灯譜美会の皆さん。鮮やかなオレンジ色の衣装が、紅葉を連想させます。11月19日(水)の活動では、誰もが知っている昔懐かしい曲『ふるさと』や『星影のワルツ』など13曲が披露されました。「1と、2と、3と、ハイ!」という掛け声の後、大正琴の音色が部屋に響き始めます。毎回、聴き手の年齢層を踏まえ、季節感を大切にしながら、その日に演奏する曲を選んでいくそうです。曲目によってはメンバーが弾き手と踊り手に分かれ、優雅な所作でも利用者のみなさんを魅了します。その場にいたどの方も、穏やかな表情で歌詞を口ずさみながら、優しく温かな音色に酔いしれていました。

灯譜美会の代表を務めるのは、中之島流大正琴の指導者として教室も開いている中田照子さん。

活動の「灯」火が永く続くようにとの願いと、楽「譜」を大切にしようという思いに、女性の「美」しさを加えて会名とし、大正琴の演奏ボランティア灯譜美会は平成6年1月に結成されました。「灯譜美会の設立当初は市内の施設が少なく、訪問しての演奏時間も15分程度でした。その短い時間でも涙を流して聴き入ってくれた方がいたり、寝たきりの方が歌詞を口ずさんでいたりしてくれたそうです。このエピソードを施設職員の方から聞いた時、大変嬉しく思ったのと同時に、大正琴の“癒し”のチカラを感じました。その時の感動が、これまでの活動の原動力になっています。」と中田さんは話します。



大正琴は日本生まれの洋楽器！

大正琴は、その名の通り大正元年に生まれた日本の楽器です。白と黒の音階ボタンが並び、そのボタンを左手で押しながら、弦を右手で弾いて演奏します。

洋楽器の「ド・レ・ミ・ファ…」は、数字の「1・2・3・4…」に置き換えられています。音階ボタンにも数字が割り振られているので、音符が苦手な方にも親しみやすい楽器です。

現在会員は23名で、上達の度合いに応じてコスモス、ひまわり、かすみ草、チューリップの4グループに分かれています。そこに代表の中田さんが加わり、各グループが練習に励んでいます。活動地域は、市内のわくわくサロンや施設をはじめ、依頼があれば鹿嶋市や銚子市の施設へも出向きます。

チューリップのみなさん（下写真）は、「もっと早く大正琴を始めていたかった」と口を揃えます。生き生きとした笑顔から、夢中になれる活動に出会えたことの喜びが垣間見られました。

「いつも楽しんで聴いてくれる施設利用者さんと、依頼してくれる職員の皆さんの期待に応えたい。この思いが、私たちの向上心とやる気を引き出してくれています。」と、中田さんが優しい面持ちで活動への思いを語ってくれました。



今回取材した 灯譜美会『チューリップ』のメンバー！（右側から3番目が代表の中田照子さん）

灯譜美会では、一緒に大正琴を楽しむメンバーを随時募集しています。初心者も大歓迎です！
【お問合せ先】灯譜美会 代表 中田照子
TEL：0299-92-1944



★ビューティーセミナー★

メイクボランティア講座報告

11月19日(水)、第3期となったメイクボランティア講座を神栖市女性・子どもセンターで開催しました。「高齢者施設などで女性にメイクを施し、笑顔になってもらおう！」を目的としたこの講座には、メイクに関心を持つ女性18名が参加しました。

今回の講師は、アイビー化粧品茨城第3販社の青柳さんです。洗顔や化粧水・乳液の使い方といったスキンケアから始まり、メイクのポイントを学んでいきます。続いて、ペアになり、お互いにメイクをします。皆さん、自分以外の人にメイクをするのは初めてです！

自分の手を、相手はどう感じているのか？慣れないながらも相手の気持ちに思いを巡らせます。相手が美しく変身していく様子にお互いが嬉しくなりニコニコします。受講者からは「人にメイクをするのは緊張しましたが、楽しかった」などの感想が寄せられました。

12月11日(木)には“実践編”として受講者がはさき福祉センターで行われた「わくわくサロンすこやか」におじゃましました。皆さん、高齢者へのメイク体験を通じて、メイクが女性に与えるチカラや、相手が笑顔になることの喜びを感じたようです。



お化粧品はみんなを元気にしますね

第1期の講座修了者が、メイクボランティア「かみすべっぴんさん」を立ち上げ、現在神栖市内で活動中です。神栖市社協は、メイクボランティア活動の支援をしています。

お問い合わせは 神栖市社協 神栖本所 0299-93-1029(担当:下田) 波崎支所 0479-48-0294(担当:横田)まで

シリーズ おじゃまします♥ わくわくサロン わくわくサロン松原 編

「わくわくサロン松原」は、毎月第3月曜日に若ノ松区民会館で開催されています。おじゃました11月17日(月)は、参加者のフラダンスや演芸ボランティアによる日本舞踊などが披露されました。会場は歓声と笑い声で満たされ、25名が、毎月1回のにぎやかな活動を楽しみました。

たくさん作って、大勢で食べるおいしさ

この日は、採れたて野菜の漬け物と具たくさんのお味噌汁がテーブルに並んでいました。「大きな鍋でたくさんの量を作ると、やっぱり美味しいね。」と参加者の声。大人数で食べるので、おいしさがさらに増します。



サロン参加者による「高砂」踊り。芸達者が多いのも特徴のひとつです。



「サロンを通して、生活に張りあいが出るようにお手伝いしています。楽しみに待っていてくれる方がいるので、喜んでもらえるよう、季節ごとにいろいろな催しを企画しています。気軽に参加してください。すぐ皆さんと仲良くなれますよ。」と代表の瀬尾さんが話してくれました。

お味噌汁を作る瀬尾さん。健康にも気を配り、塩分は控えめです。

サロンは、家に閉じこもりがちな地域の高齢者や障害者、子育て中の親子などが身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。神栖市社協では、わくわくサロンづくりと運営のお手伝いをしています。

お問い合わせは 神栖市社協 神栖本所 0299-93-1029(担当:下田) 波崎支所 0479-48-0294(担当:横田)まで

お知らせ

子育てサロン 子育てふれあい広場『ひよこ』 12月と1月は下記の日程で開催します!

子育てふれあい広場ひよこは、親子同士が体操や手遊びなどをしながらふれ合い、楽しいひとときを過ごしています。12月はクリスマス会を開催します。サンタさんからのプレゼントもあります!

ぜひ、お子さんと一緒に遊びに来て下さい♪事前申込みは不要です。



- ◆日 時：平成26年12月18日(木)、平成27年1月15日(木) 10:00~11:30
- ◆場 所：保健・福祉会館 集会室B ◆参加費：無料 ◆対象者：子育て中の親子(年齢は問いません)
- ◆お問合せ ★保育サポーターひよこ 代表:田中 TEL 0299-93-0603
★ボランティアセンター 担当:下田 TEL 0299-93-1029

大切な人から贈られたおもちゃ、また動かしてみませんか?

「神栖おもちゃ修理ボラ」は、定年退職したエンジニアのお父さんたちのボランティアグループです。“ものを大切にする気持ち”を伝えたいとの思いから、長年培った技術を活かしおもちゃの修理活動を行っています。

壊れてしまった、思い出のおもちゃを一度持って来てみませんか。幼稚園や保育園、児童館などで使用しているおもちゃも修理します。

- ◆費 用：作業料は無料です。部品代のみ実費でいただきます。
- ◆問合先：社会福祉協議会 ボランティアセンター TEL 0299-93-1029



※修理方法等、依頼者と相談しながら進めますが、破損や摩耗等の状態によっては修理できない場合があります。また、修理中におもちゃが故障してしまった場合の保障はいたしかねます。ご了承下さい。

不用物品を活用しませんか

ご家庭で不用となった物品も、ちょっと見方を変えれば、まだまだ役立つものに変身します。
みなさんのちょっとした気持ちを集めて、社会貢献をしてみませんか。

書損じハガキ



書き間違えてしまった年賀状（通常のハガキでも構いません）で、「空飛ぶ車いす」活動を支えることができます。書き損じハガキは、神栖市社協にお寄せいただくと、（財）日本社会福祉弘済会に送られ、切手に交換されます。協力企業がその切手を購入することで換金され、車いすの修理部品代や輸送費として活用されます。

■「空飛ぶ車いす」とは…使われなくなった車いすを修理・再生し、車いすが不足している国々に贈る、全国的に展開されている活動です。①車いすの提供者、②修理ボランティア、③海外旅行時の手荷物として車いすを運ぶ輸送ボランティア、④現地での受取り運搬ボランティアのリレーによって成り立っています。

神栖市ではボランティアサークル「空飛ぶ車いすin神栖」が車いすの修理を行っています。



衣類



衣類の寄付についての問合せが多く寄せられています。神栖市社協では、衣類の受け入れを行っておらず、下記の2団体を紹介させていただいています。大掃除で出た、“まだ着られるかも”と迷う衣類などがありましたら、ぜひご活用ください。
下記団体へ衣類を送るときは、事前に電話で問合せをしてください。

認定NPO法人 ブリッジ エーシア ジャパン
【TEL：03-3372-9777】

集まった古着をリサイクル業者が買取り、その収益がミャンマー、ベトナム支援活動にあてられます。

○送付可能 「送付不可」以外の衣類は何でも回収可能。季節・流行・大人用・子供用問いません。

×送付不可 制服、学生服、作業着、着物、社名や学校名が入ったもの、ふとんやまくら等の綿が入っているもの、スリッパ、長靴、ゴム製品、ぞうきん、ひも、ハンガー

■送付先 〒662-0934
兵庫県西宮市西宮浜3-14-4
BAJ倉庫 日光物産気付

■送料 送料は元払い(送り主負担)です。負担いただくのは上記住所倉庫までの送料のみとなり、海外発送費用の請求等はありません。

認定NPO法人 日本救援衣料センター
【TEL：06-6271-4021】

集めた衣料品をそのまま海外支援に役立てます。

○送付可能 (新品)下着、靴下、パジャマ、タオル、タオルケット、シーツ
(洗濯済みでシミ無し)毛布、Tシャツ、カッターシャツ、ポロシャツ、ブラウス、トレーナー、セーター、カーディガン、オーバーコート、ジャンパー、ズボン、ジーンズ

×送付不可 上記以外の衣類(スカート、ワンピース、ジャケットなど)や雑貨類

■送付先 〒658-0023
兵庫県神戸市東灘区深江浜町22-2
日本救援衣料センター

■送料 送料は元払い(送り主負担)です。海外輸送費は衣料10kgにつき1,500円のご協力をお願いしており、衣料送付の約1ヶ月後に振込用紙が届きます。



ハッピー・クリスマス！

ボランティアサークル「バルーンアートWa'mくる」の皆さんが、かわいいサンタクロースとトナカイをバルーンで作ってくれました。「Wa'mくる」は、交流サロン(市保健・福祉会館内)にて月1回活動しています。皆様、よいクリスマスをお過ごしください。